

新型コロナウイルス感染症予防対策をふまえた 避難所対応について

1. 経緯

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、内閣府より「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」(令和2年4月1日付け府政防第779号他)、「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料について」(令和2年5月21日付け府政防第939号他)が発出されました。

また、令和2年6月8日には、内閣府より新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練ガイドラインが発表されました。

これらを参考に、本市も新型コロナウイルス感染症予防対策をふまえた避難所対応を検討して訓練を行い、令和2年10月10日台風14号における自主避難所で実際に対応しました。

2. 主な対策

風水害時等に自主避難所として開設するコミュニティセンター及び体育会館の新型コロナウイルス感染症対策を念頭にした対応を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症を防止するために、避難所においても「新しい生活様式」を実践します。

(1) 感染症対策物資の備蓄

非接触型体温計、手指消毒液、テントなどを備蓄しました。

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策を取り入れた避難所の開設

自主避難所になる予定の体育会館、コミュニティセンター用に「新型コロナウイルス感染症を踏まえた自主避難所運営マニュアル」を作成しました。

避難者受入手順は次のとおりです。

- ①受付で、健康状態を聞き取り、非接触型体温計で検温を実施する。
→発熱や咳等の症状のある避難者を発熱等症状がある人の専用スペースに誘導する。
- ②避難所入口で手指消毒をしてもらう。
- ③マスク着用していない避難者に施設で準備したマスクを配布する。
- ④前の人との間隔を2m開けて並ばせる。
- ⑤避難者カードを記入してもらう。

- ⑥ テント用表札にテント番号と世帯数を記入し、避難者に渡す。
- ⑦ 避難場所に誘導する。(必要に応じて毛布を使用してもらう。)
- ⑧ 避難者カードに記載されている内容を避難者集計表に記入し、管理する。

※受付対応職員はマスクとフェイスシールドを着用します。

(3) 福祉避難所の設置

一定の配慮が必要な避難者に対する福祉避難所を総合体育会館（横須賀アリーナ）に設置します。

(4) 市民への啓発、周知

避難所対応を円滑に行うには、避難者となる市民の協力が欠かせないため、別紙の「コロナ禍で風水害時に開設する自主避難所について」を作成し、町内会で回覧してもらうとともにホームページに掲載し、周知を図りました。

3. 訓練の実施

上記の主な対策をふまえ、2回訓練を実施しました。

(1) 第1回訓練

- | | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和2年6月26日（金） 13時30分～ |
| 参加機関 | 横須賀市（保健師、救急隊含む） |
| 訓練場所 | 総合体育会館 |
| 訓練内容 | ①避難所設営訓練
②避難者受入訓練
③福祉避難所運営訓練
④体調を崩した避難者への対応訓練 |



(2) 第2回訓練

- 開催日時 令和2年9月14日(月) 13時30分～
- 参加機関 横須賀市、横須賀市消防団、横須賀市連合町内会、横須賀市民生委員児童委員連絡協議会、横須賀警察署、田浦警察署、浦賀警察署、陸上自衛隊第31普通科連隊、海上自衛隊横須賀地方総監部、横須賀建設業協会 約 270人
- 訓練場所
メイン会場 総合体育会館、南体育会館、西体育会館
サブ会場 コミュニティセンター(追浜、田浦、逸見、衣笠、大津、浦賀、北下浦) 計 10か所
- 訓練内容
①避難所設営訓練
②避難者運営訓練
③救護訓練
※横須賀アリーナのみ、陸上自衛隊による講和、海上自衛隊による講和、仮設入浴施設・炊き出し施設見学実施

(横須賀アリーナ)



(西体育会館)



4. 台風 14 号における対応

台風 14 号の接近に伴い、自主避難所を開設し対応を行いました。

開設日時 10 月 10 日（土） 8 時 00 分

開設場所 16 コミュニティセンター、総合体育会館

（追浜、田浦、長浦、逸見、三春、衣笠、池上、大津、浦賀、鴨居、久里浜、
岩戸、北下浦、西、武山及び長井）

避難者数 最大で計 2 世帯、2 人（10 月 10 日（土） 12 時）

横須賀アリーナ 1 世帯 1 人

久里浜コミュニティセンター 1 世帯 1 人

閉鎖日時 10 月 11 日（日） 6 時 00 分

5. 今後の予定

訓練結果を基に備蓄品やマニュアルを見直すとともに、震災時避難所における対応について検討します。

また、令和 3 年度に改訂予定の横須賀市地域防災計画地震災害対策計画編、風水害対策計画編に反映します。